

南阿蘇村ゴマ有機栽培暦

収量目標: 60kg/10a

南阿蘇村農業みらい公社

	6月			7月			8月			9月			10月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
生育経過																
作業	排水対策	耕うん、基肥施用 播種(6月上旬～7月下旬)					中耕・培土					収穫・乾燥・調整				
作業のポイント	<p>品種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白ごままたは金ゴマ <p>ほ場選定、排水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴマは湿害に弱いので排水不良ほ場を避ける。 ・連作すると収量が低下しやすいので連作は避ける。 ・水田転換ほ場では明渠、暗渠などを組み合わせる。 <p>耕うん、砕土、整地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕起は播種直前に行う(耕起深度は15～20cm程度)。 ・ほ場に大きな土塊が多いと、出芽不良になる。 ・土塊が小さいほうがゴマの発芽率が向上する。 <p>肥料散布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10aあたり牛糞堆肥1tを施用する。 <p>播種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種適期は6月上旬～7月下旬 ・湿害に特に弱いので晴天が続く日を狙って播種する ・ごんべえなどの播種機で条間70cm程度のすじ播きとする。 ・播種量は150g/10a程度。 						<p>獣害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シカが若葉を食べる場合があるのでシカが来るほ場は電気牧柵等で対策を行う。 <p>雑草・害虫対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴマの草丈が10cm程度になったら畝間除草のため中耕を行う。ゴマがさらに生育して、畝間に雑草が目立ってきたら中耕培土を行う。 ・ゴマは発芽後にネキリムシ、開化期以降頃にスズメガの幼虫の食害を受けるが、有機栽培で使用できる農薬はない。 <p>収穫、脱穀、乾燥、調製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫適期の目安は一番下の莢が裂開したころ。 ・手刈りかバインダーで刈り取り、ハウスなどに立てて乾燥させる。 ・乾燥したら、ゴマを下向きにしたたたいて莢の中のゴマを出す。 ・取り出した子実は、フルイと唐箕で選別する。 									
	ゴマ播種			ゴマの花と害虫			ゴマの乾燥			ゴマの脱粒						